

第 36 回山口県回復期リハビリテーション病棟研究会開催

2014 年 7 月 19 日（土）、山口県健康づくりセンターにて第 36 回山口県回復期リハビリテーション病棟研究会が、263 名（医師 18 名、一般 245 名）の参加により開催されました。



熊本リハビリテーション病院の吉村芳弘先生による特別講演『回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションと栄養』のほか、一般演題が 10 題ありました。



一般演題のテーマは山口県の回復期リハビリテーション病棟における身体拘束についての調査結果、リハビリ査定状況について、排泄ケアにおけるケアワーカーの役割など幅広く、発表者も医師、理学療法士、作業療法士、看護師、ケアワーカー（介護）、事務長など多種多彩で、山口リハビリテーション病院の取り組みを象徴するような研究会でした。



吉村先生



なお、今回の研究会は、当院が開催担当となり準備から運営など多職種が連携を取りながら、開催までに取り組みました。



準備から当日の運営まで、研究会準備委員会として協力し、縁の下で支えたスタッフなど、多数の協力のもと開催されていることに気づかされた研究会でした。